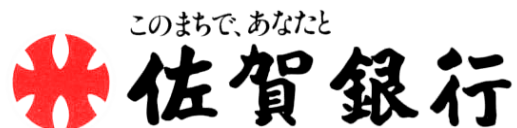


さきん 会社説明会

「お客さまとともに、地域の未来を創造する銀行」を目指して

平成28年11月

※本編は平成28年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を平成28年9月期の計数に置き換えたものです。



目次

1. 平成28年度中間期損益の状況	・・・	3
2. 預貸金の状況	・・・	4
3. 有価証券の状況	・・・	5
4. 自己資本比率・不良債権比率の推移	・・・	6
5. 統合的リスク管理	・・・	7

1. 平成28年度中間期損益の状況

(単位:百万円)

項 目	番号	平成27年度 中間期	平成28年度 中間期	前年比	備 考	
業務粗利益	1	16,511	14,306	△ 2,205		
資金利益	2	13,072	12,713	△ 359		貸出金平残 +4.2% (+568億円)
資金運用収益	3	13,769	13,139	△ 630		(佐賀・長崎) +3.0% (+213億円)
貸出金利息	4	9,352	9,149	△ 203	△2.1%	(福岡) +7.6% (+393億円)
						貸出金利回り △6.1% (1.381%→1.296%)
						貸出金利息(東京) △69百万円
						貸出金利息(地公体向) △136百万円
						貸出金利息(除く東京・地公体向) +2百万円
有価証券利息配当金	5	4,315	3,844	△ 471	△10.9%	有価証券平残 △4.6% (△312億円)
						" 利回り △6.5% (1.276%→1.192%)
その他	6	101	144	+43		
資金調達費用	7	697	426	△ 271		預金等平残 +1.4% (+313億円)
預金等利息	8	532	345	△ 187	△35.1%	" 利回り △36.0% (0.050%→0.032%)
その他	9	164	80	△ 84		総資金利鞘 0.08% (前年比△0.01%ポイント)
役務取引等利益	10	1,510	1,262	△ 248		
役務取引等収益	11	3,227	3,107	△ 120		投資信託関係 △118 保険関係 △21
" 費用	12	1,716	1,844	+128		住宅ローン保険料 +71 ローン関係保証料 +68
特定取引利益	13	86	12	△ 74		
その他業務利益	14	1,841	317	△ 1,524		
経費	15	11,778	11,710	△ 68		人件費 +42 物件費 △80 税金 △29
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16	4,732	2,595	△ 2,137		
クレジットコスト	17	491	△ 92	△ 583		クレジットコスト = △0.01% (前年比△0.08%ポイント)
一般貸倒引当金繰入額	18	110	0	△ 110		貸出金平残
個別 " "	19	333	0	△ 333		
債権売却損等	20	47	1	△ 46		
貸倒引当金戻入益	21	0	93	+93		
その他の臨時損益	22	493	△ 339	△ 832		退職給付数理差異 前年比 +385
経常利益	23	4,733	2,348	△ 2,385		
特別損益	24	△ 44	△ 10	+34		
税引前中間純利益	25	4,689	2,338	△ 2,351		
法人税等・法人税等調整額	26	1,571	484	△ 1,087		
中間純利益	27	3,117	1,853	△ 1,264		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 預貸金の状況

1. 貸出金の状況

(単位:百万円)

		平成27年度上期	平成28年度上期	前年比
貸出金全体	平残	1,350,433	1,407,317	+56,884
	利回り	1.381%	1.296%	△ 0.085%
	利息	9,352	9,149	△ 203
うち事業性	平残	760,390	810,397	+50,007
	利回り	1.102%	1.016%	△ 0.085%
	利息	4,199	4,129	△ 70
うち住宅ローン	平残	303,408	323,643	+20,235
	利回り	1.452%	1.331%	△ 0.120%
	利息	2,208	2,160	△ 48
うち消費者ローン	平残	43,230	45,774	+2,544
	利回り	7.647%	7.515%	△ 0.132%
	利息	1,657	1,724	+67
貸出金全体 (除く東京・地公体向け)	平残	1,031,033	1,107,497	+76,464
	利回り	1.623%	1.511%	△ 0.112%
	利息	8,387	8,389	+2

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローンの平残については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

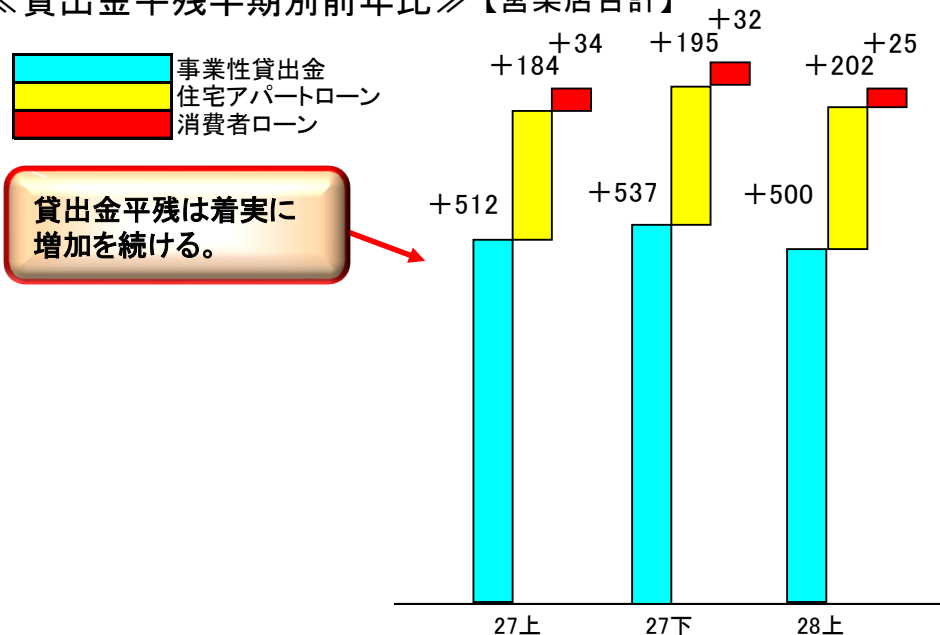
2. 預金等の状況

(単位:百万円)

		平成27年度上期	平成28年度上期	前年比
預金等全体	平残	2,090,463	2,121,785	+31,322
	利回り	0.050%	0.032%	△ 0.018%
	利息	532	345	△ 187
うち個人預金	平残	1,426,500	1,431,803	+5,303
うち法人預金	平残	498,964	523,635	+24,671

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

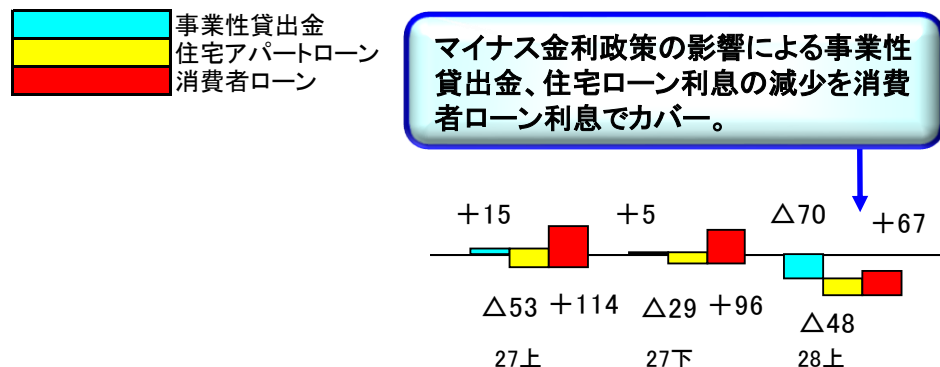
《貸出金平残半期別前年比》【営業店合計】



貸出金平残は着実に増加を続ける。

※ 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

《貸出金利息半期別前年比》【営業店合計】

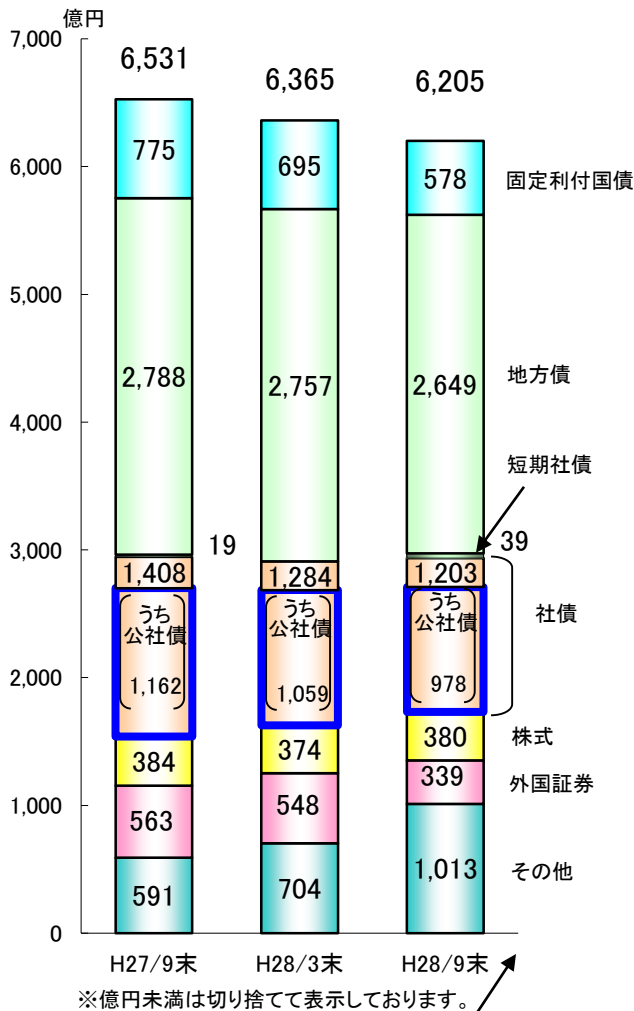


マイナス金利政策の影響による事業性貸出金、住宅ローン利息の減少を消費者ローン利息でカバー。

※ 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

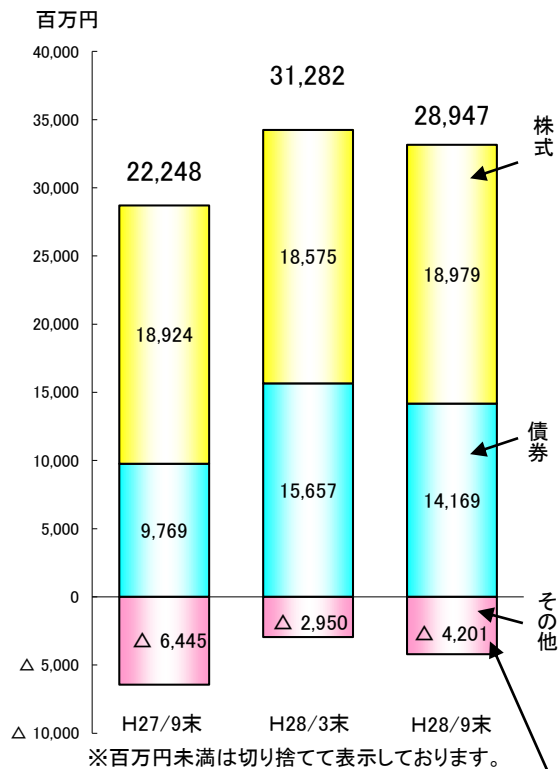
3. 有価証券の状況

1. 有価証券残高 (BS計上額)



「その他」の内訳
 REIT 54
 その他の投資信託 949
 投資事業組合 10

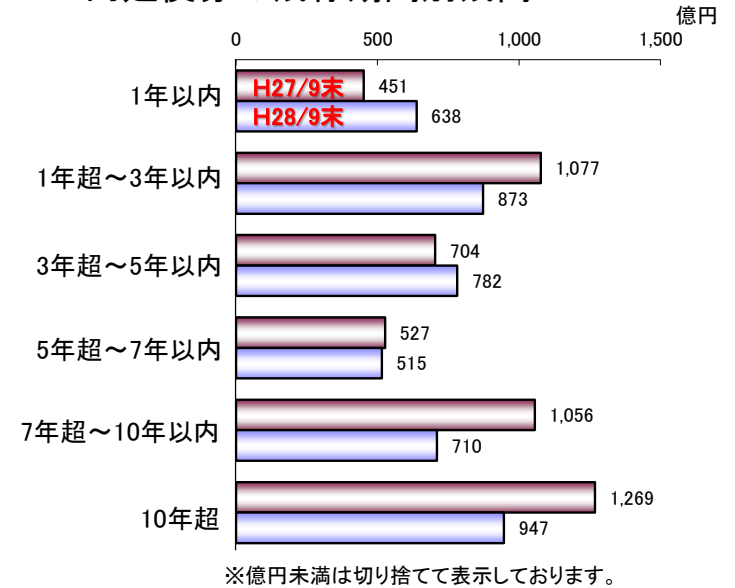
2. 「その他有価証券」の評価損益



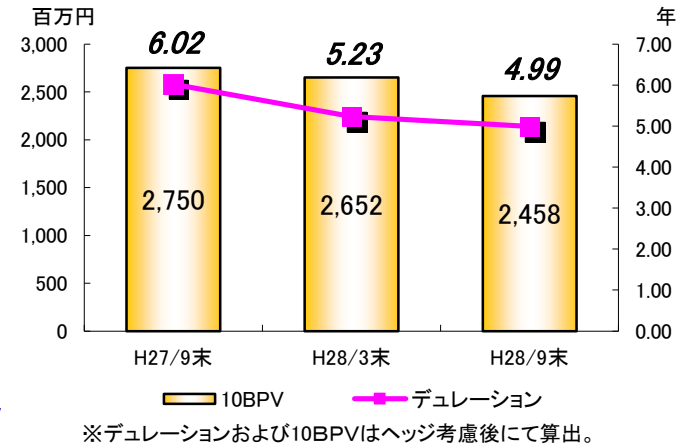
うちREIT、ETF、外債投信等で「△3,117」、
 金利リスクヘッジのための
 債券ベア型投信で「△1,084」

うち「72」は金利リスクヘッジのための債券ベア型投信

3. 円建債券の残存期間別残高



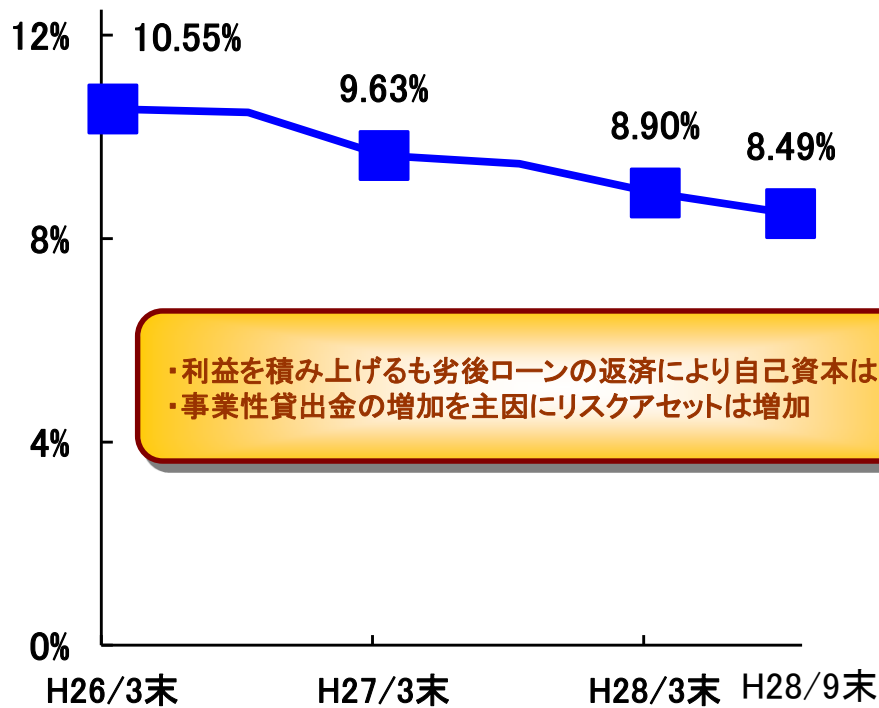
4. 円建債券の平均残存期間と10BPV



4. 自己資本比率・不良債権比率の推移

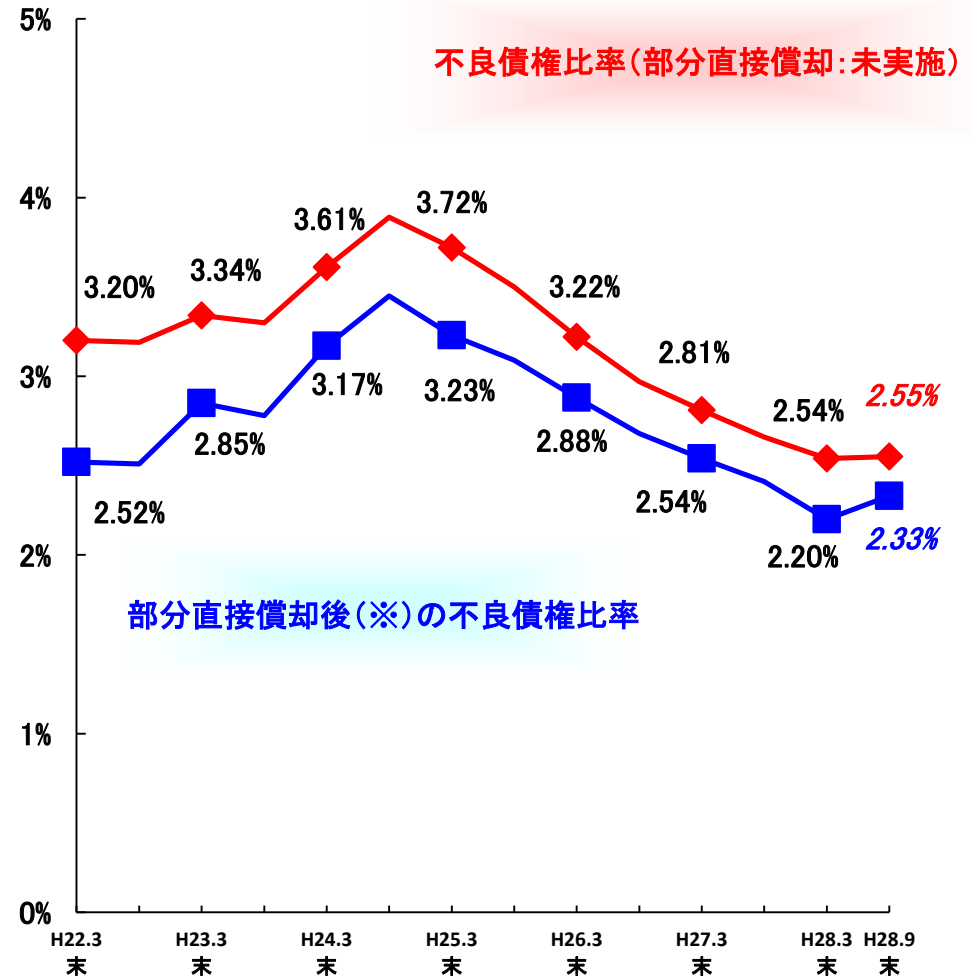
(1) 自己資本比率の推移

		H28/3末	H28/9末	(H28/3末比)
自己資本	A	102,512	102,039	△ 473
リスクアセット	B	1,151,308	1,200,931	+49,623
自己資本比率	A/B	8.90%	8.49%	△ 0.41%



・利益を積み上げるも劣後ローンの返済により自己資本は減少
 ・事業性貸出金の増加を主因にリスクアセットは増加

(2) 不良債権比率の推移



※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

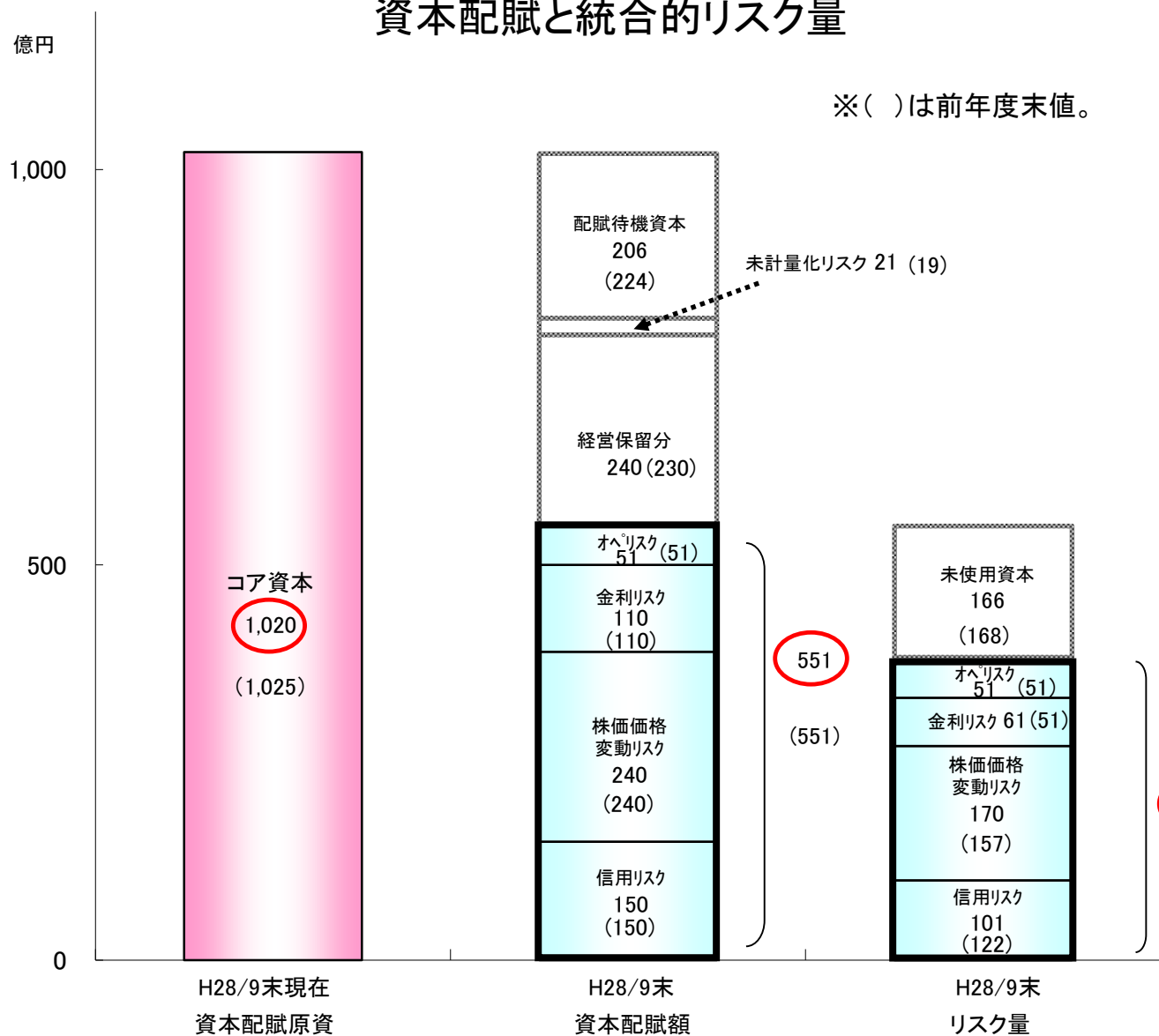
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

5. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量



リスク計測基準

信用リスク	保有期間	1年
	信頼区間	99%
金利リスク	保有期間	1~60日
	信頼区間	99%
株価価格変動リスク	保有期間	20~125日
	信頼区間	99%
オペレーショナルリスク	基礎的手法	

※相関は考慮しておりません。

アウトライヤー比率 (H28/9末)

金利リスク量 (億円)	自己資本 (億円)	アウトライヤー比率
0	1,020	0.00%
(41)	(1,025)	(4.04%)

※計測方法: 完全再評価方式 ※金利ショック幅: パーセントイル値
 ※コア預金: 内部モデルにて計測 ※億円未満は切り捨て
 ※下段の()は前年度末値

99%タイル値、1%タイル値ともに金利ショック後の評価額は増加するためリスク量はゼロの状況

※億円未満は切り捨てにて表示

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 大串、波多江

TEL 0952-25-4553

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。